一般質問

市民の声を市政に

遊休農地の解消

下田　仁

問　不耕作地が増加している。長年にわたり放置され山林化している土地もあり、病害虫の発生や、防犯の面から市民に不安を与えている。このような土地の現状と市の指導を伺いたい。

答　平成17年調査で約108ha、全体農地の1・6％あり年々増加しています。今年も実態把握のため現地調査や、所有者アンケート調査を行う農地をデータ化し、雑草雑木の除去を指導し遊休農地解消を図ります。

問　遊休農地解決は長い間進展がない、所有者に面談する等強い指導を新市に期待する。

答　市が仲介しても片付けた樹木の処理費用等の課題があります。所有者の意志を聞き取り、解消を図っていきます。

深谷南部山林の防災について

問　本田地内の（通称）秩父セメント山にカヤが繁茂し、冬期の火災等の防災対策が心配である。所有企業への指導をどのように実施しているのか。

（通称）秩父セメント山

答　企業所有の25haの土地です。道路に面した場所及び民家近くの除草、枯草の管理など指導しています。

問　カヤが多く野火の発生が心配だ。買収計画時は採取後は緑の山に戻すとのことだった。植林等指導はできないか。

答　火災予防上危険を察知したときは川本分署で対応します。また火災シーズンには月1回巡回していきます。法に基づく適正な指導を実施します。

市道の整備について

野澤喜代子

問　（旧川本町道）整備について生活道路の整備（側溝・傷んだアスファルト舗装）など深谷市の生活道路の整備方針を聞きたい。

答　地元自治会からの要望を基に、緊急性や通学路の指定、予算状況、地域バランス、自治会の優先順位などを考慮してやっていきます。

問　アスファルトの傷んでいるのはどうなのか。

答　市内全体に破損箇所が点在しています。今後、舗装修繕は、多数予測されます。穴などの危険箇所のチェックについては、日常点検や定期パトロールで回ります。

武川駅北の公園にトイレの設置を

問　トイレと時計の設置については。

答　予算の問題、設置箇所周辺の見通しがついたときは設置を検討します。

問　芝の管理については。

答　専門業者等と相談しながら薬剤散布も視野に入れ、管理方法再検討で対応します。

問　短い生活道路の整備は。

答　自治会長さんを通じて要望を提出してください。

問　短い生活道路の整備してほしい箇所がたくさんあるが。

答　10年間で320件の要望があり、実施率46・9％。5年間では20件の要望があり、実施率40％であります

武川中央公園

市民参加の清掃・美化活動できれいなまちに

鈴木三男

問　きれいなまちにするため、散歩しながら、日頃、自分から進んで道路や公園などの空き地のごみ拾いをしている方がいる。このようなボランティアを支援するため、ごみ袋の欲しい方に、ごみ袋を市役所や各支所で無料配布しては。

答　公民館だよりなどで宣伝し、欲しい方に、ごみ袋を差し上げます。市役所の環境課、支所の市民環境課や各地域の公民館へ申し込んでください。

介護軽度者に介護ベッド・車いすの補助制度を

問　昨年6月の介護保険法の改正により、介護度の軽い高齢者は、今年の10月1日から介護ベッドや車いすの介護保険での利用ができなくなった。しかし、介護度の軽い方でも、介護ベッドや車いすがどうしても必要な方がいる。介護ベッドや車いすを購入したりレンタルする場合に、その費用の一部を市が負担する補助制度を考えてはどうか。

答　補助制度は、考えていません。安い値段で、介護ベッドや車いすの利用サービスを提供している福祉用具取り扱い業者の情報を提供します。

計画の策定にパブリックコメントの活用を

問　新深谷市が生まれ、各種の計画が作られている。その計画や条例を立案する過程で、案や趣旨を公表し、市民から意見を求める「パブリックコメント」を実施しては。

答　新市総合振興計画の策定時に、多くの市民の意見を伺うため、パブリックコメントを行います。

高齢者生活支援事業の創設を

清水　睦

問　昨年、高齢者の所得税が増税され、今年度からは住民税が増税となった。全国で500万人もの高齢者に大きな負担増がおそいかかった。住民税の納税通知書が送付されると、深谷市でも約300件の問い合わせや苦情、抗議があった。増税が行われれば、税はもとより、国保税・介護保険料、その他関連する様々なサービスに影響し、負担を強いられることになる。このようなことにより、生活保護基準以下の可処分所得（生活費）になってしまった高齢者に対して、生活保護基準との差額を支給する「高齢者生活支援事業」を創設し、税制改正の影響を受けて暮らしが厳しくなっている高齢者の暮らしを支えるべきではないか。

答　税制改正に伴います高齢者への影響は、税や保険料だけでなく、福祉サービスの非該当になられた方もございます。「高齢者生活支援事業」の創設は考えていませんが、市単独介護保険利用料支給事業は、該当基準の見直しを検討してまいります。

精神障害者医療費補助制度の創設を

問　障害者自立支援法施行に伴って精神障害者の医療費負担が倍増した。障害者の負担の軽減を図るため、補助制度を創設すべきではないか。

答　重度心身障害者医療費制度の対象として精神障害が組み入れられるのか、独自の負担軽減策創設が必要であるか、県及び他市の状況を勘案し、前向きに、調査研究してまいります。

花植木公設卸売市場と隣接する埼玉県の施設について

富田　勝

問　埼玉県花と緑の振興センター跡地について、県の考えと深谷市の考えは。

答　植木の剪定や雑草等は地元業者に、建物は警備会社に委託、また、県農林総合研究センター職員により巡回を実施し管理しております。今後とも県にお願いしていきたいと考えております。

問　深谷市花フェスタのとき等のイベント会場として一部使用できないか。

答　深谷市がこの施設を買い取ることを条件として、有償で貸し付けるとのことです。市といたしましては、跡地の有効活用が見当たらない状況であり、現時点では買収する考えはございません。イベントのときの数日間であれば、現状復帰すれば有償ですが貸し付けは可能です。

問　有償とは、現状復帰とはどのようなことか。

答　そこまでは詰めておりません。（後日連絡があり、北側の試験地約1ha1日640円）

問　深谷市花植木公設卸売市場の今後について。

答　市が県から買収する時点では花植木センターに買い取ってほしいという話し合いがなされていたと聞いておりますが、現時点では売却は考えておりません。購入希望等が提出されればその時点で考えさせていただきます。

問　値段しだい、交渉しだいでは2社以外の卸売業者でも考えるのか。

答　価格や公募等については現在考えておりません。活性化については、今後とも側面から支援してまいります。

花植木公設卸売市場

〈議会あれこれ「議案質疑ってなぁに?」…議案の提出者に対し、議案の内容等について、疑問点や不明点を問いただすことです。〉